正副議長就任あいさつ

（左から、工藤日出夫議長、高橋伸治副議長）

私たちは、このたびの臨時会におきまして、議員各位からの御推挙により、議長、副議長に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

今後とも、市民の皆様により身近で、信頼される議会を目指し、市民福祉の向上と本市の発展に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

5月臨時会

新たな議会構成が決定

議　長　工藤日出夫
副議長　高橋　伸治
監査委員　保角　美代

5月24日に開かれた臨時会では、市長提出議案2件、議員提出議案1件を慎重に審議しました。

また、各委員会等の構成については、別表のとおり決定しましたのでお知らせします。

紹介

5月臨時会において同意されました方を紹介します。

監査委員

住所　東間3丁目100番地22

氏名　保角（ほずみ）　美代（みよ）氏

各会派と所属議員を紹介します

啓和会（6人）	
◎加藤　勝明	岡村　有正
松島　修一	渡邉　良太
滝瀬　光一	黒澤　健一
みらい（4人）	
◎大嶋　達巳	日高　英城
高橋　伸治	諏訪善一良
公明党（3人）	
◎岸　昭二	保角　美代
島野　和夫	
緑風会（3人）	
◎金森すみ子	村田　裕子
今関　公美	
市民の力（2人）	
◎桜井　卓	工藤日出夫
日本共産党（2人）	
◎中村　洋子	湯沢　美恵

◎は代表者、以下議席順

各委員会と所属議員を紹介します

総務文教常任委員会（7人）			
◎日高　英城	○中村　洋子	金森すみ子	岡村　有正
保角　美代	大嶋　達巳	加藤　勝明	
健康福祉常任委員会（6人）			
◎桜井　卓	○岸　昭二	村田　裕子	松島　修一
高橋　伸治	渡邉　良太		
建設経済常任委員会（7人）			
◎滝瀬　光一	○湯沢　美恵	工藤日出夫	今関　公美
諏訪善一良	島野　和夫	黒澤　健一	
議会運営委員会（7人）			
◎加藤　勝明	○村田　裕子	湯沢　美恵	桜井　卓
保角　美代	滝瀬　光一	大嶋　達巳	
予算決算常任委員会（議長を除く議員19人）			
◎黒澤　健一	○今関　公美	その他委員省略	

◎は委員長、○は副委員長、以下議席順

6月定例会

令和3年度 北本市一般会計予算総額に 9，979万4，000円を追加

5月31日から6月21日まで22日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案10件、請願1件、委員会提出議案1件を慎重に審議しました。

紹介

6月定例会において設置された特別委員会委員を紹介します。（敬称略）

子どもの権利に関する特別委員会委員（7名）

子どもの人権を尊重し、すべての子どもが幸せな生活を送ることのできる社会を目指し、子どもの権利条例の制定について、子どもの権利に関する特別委員会を設置して付託し、閉会中の継続審査としました。

委員長 渡邉良太
副委員長 桜井卓
委員 湯沢美恵
岡村有正
今関公美
保角美代
大嶋達巳

予算決算常任委員会

「議案第41号」令和3年度北本市一般会計補正予算（第5号）について

Q1 不動産売払収入の買収価格について

A1 一般県道下石戸上菖蒲線の歩道整備に伴う市有地の売り払いに係るもので、宮内7丁目142番地1及び147番地1が単価5万4，700円、宮内7丁目148番地が単価4万9，200円で、埼玉県の鑑定に基づき算定された価格となっています。

Q2 庶務事務システムを導入することによる効果及び財源措置について

A2 紙媒体で行っていた年次有給休暇や特別休暇の申請・許可、時間外勤務の申請・承認をシステム化することに伴い、給与計算との連動が可能となり給与計算業務が効率化されるため、月40時間程度の時間外勤務の削減を見込んでいます。また、申請書の写しを総務課に提出する作業の削減により職員間の接触を回避することができると考えます。財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を見込んでいます。

Q3 学校管理費に関して、水栓ハンドルのレバー式への改修にかかる修繕料の積算根拠及び財源措置について

A3 小学校については、交換希望箇所が731か所、中学校については、交換希望箇所が408か所で、基本的には水栓のハンドル部分のみの改修を考えており、1か所当たり、経費も含めて7，000円で積算しています。財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を見込んでいます。

Q4 小・中学校のＩＣＴを活用する教育で利用する著作物の使用料がどこに支払われて、著作者にどのように支払われるのか

A4 管理協会に振り込まれた後、教育委員会から管理協会へのサンプル方式の利用報告に基づき、管理協会に登録されている分配業務受託団体に一括して支払われ、その後、分配業務受託団体から著作権者に補償金が分配されるという流れになります。

Q5 路線バス運行維持支援給付金を補正計上した経緯とその内容について

A5 各バス運行会社から運営が非常に厳しい状況であるという相談を受け、地域公共交通の維持確保支援に国の地方創生臨時交付金を活用できることから、北本市内の7路線に対し、1路線当たり30万円を給付するものです。

Q6 備品購入費に関して、広域避難所に配備予定のモーター式の手洗器と浄水器を購

入するということだが、停電時も使用できるのか

A6 発電機を用意しているため、停電時も稼動可能です。

Q7 災害用電池の広域避難所への配備予定について

A7 各広域避難所に2個ずつ防災倉庫に配備し、非常時にスマートフォン等の充電に使用し、情報収集にあたるための非常用電源にしたいと考えています。

総務文教常任委員会

「議案第33号」北本市税条例等の一部改正について

Q1 この条例改正による本市への影響について

A1 主な改正点のうち、1点目として、控除期間を13年間とする住宅ローン控除の特例を1年間延長する改正については、今後3年間は、令和2年度の実績約5，000万円と同程度の住宅ローン控除が続くものと見込んでいます。また、2点目として、留学生、障がい者及び38万円以上の仕送りを受けているもの以外の国外に居住する30歳以上70歳未満の親族から除外とする改正による影響額は僅かと想定しています。3点目として、セルフメディケーション税制について対象期間を令和9年度まで延長する改正についても、実績から見ると影響額は僅かと想定しています。

Q2 住宅ローン控除の特例の延長により影響を受ける人数について

A2 令和2年度の実績では、1，248人が該当しました。

「議案第34号」北本市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

Q1 審査申出書等の押印廃止の理由について

A1 本人確認は、押印の有無のみで判断するものではなく、申請内容や添付書類、実地調査等の機会で本人確認をすることが可能であるため、押印義務を廃止することとしました。

Q2 委員又は書記が作成する調書の押印の廃止については検討したのか

A2 委員又は書記が作成する調書については、文書の真正性担保の観点から、押印を要するものとしております。国が示している固定資産評価審査委員会条例（例）においても、この部分についての削除は行っていません。

Q3 条例改正の時期が、なぜ今議会になったのか

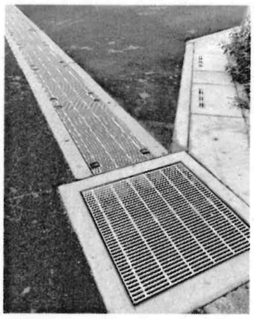
A3 国による固定資産評価審査委員会条例（例）が令和3年3月31日付で示され、県より令和3年4月1日に通知がありましたので、今議会での条例改正となります。

建設経済常任委員会

「議案第36号」市道の路線の認定について

Q 今回の市道認定路線の西側には勝林雨水幹線があり、大雨による氾濫で中央保育所までの道が冠水した経緯がある区域だが、具体的な雨水対策はどのようにしているのか

A 公共下水道の処理区域になるため、汚水と雨水は分離して処理し、道路には通常の舗装を使っていますが、側溝には浸透式のU字溝を設置、さらに傾斜地の一番低い道路側溝には鉄製のグレーチング蓋を使用し排水機能を上げる対策をしています。



鉄製のグレーチング蓋

「議請第4号」「2030年エネルギー基本計画」の改定は脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書」の提出を求める請願について

Q1 請願事項1に2030年度の再生可能エネルギー電力目標を45％以上とあるが、2021年度現在の状況とその他の主な発電の比率について

A1 再生可能エネルギーは現在約18％となっており、その他原子力発電が6％、火力発電が75％という状況です

Q2 請願事項2に原子力発電は廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止とあるが、原子力発電は即時廃止の意向なのか

A2 再生可能エネルギーを増やしつつ、増えた先に原子力発電を減らしていけば良いと考えています。

Q3 原子力発電は段階的に2050年までに廃止するにあたっての具体的なスケジュールはどのようになっているのか

A3 エネルギー・温暖化問題を専門とする研究者で構成される「未来のためのエネルギー転換グループ」による「レポート2030」では、電力消費量が2010年比で、2030年には30％減、2050年には40％減と予想しているため、石炭火力発電及び原子力発電はゼロにして、再生可能エネルギーを40％増やせれば電力供給が賄えるのでは

ないかという試算をしています。

Q4 請願事項3に再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換ということで、発電コストの増加により、電気料金が値上がりする懸念があることについて

A4 再生可能エネルギーの一つである太陽光発電のコストが年々減少してきていること、また、これからは人口減少、家電も省エネルギー化されていきますので、電気料金もそれに伴って値下がりしていくのではないかと考えています。

※請願についての答弁は、紹介議員又は参考人（請願人）が行っています。

紹介

6月定例会において同意されました方を紹介します。

教育委員会委員

住所　北本市西高尾4丁目207番地8
氏名　久保田　篤正氏

監査委員

住所　鴻巣市本町5丁目6番20・506号　ウィルローズ鴻巣
氏名　山田　順司氏

固定資産評価審査委員会委員

住所　北本市宮内6丁目82番地
氏名　後藤　昌弘氏

人権擁護委員候補者

住所　北本市本町2丁目48番地
氏名　志村　好文氏

今定例会では1件の意見書が提出され、賛成全員により原案可決しました。

「委提第2号」「2030年エネルギー基本計画」の改定にあたり、脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書
（建設経済常任委員会）

気候変動により人類の持続可能性が今問われています。気温を2100年までに産業革命から1・5℃上昇以内に収めないと人類は生存できなくなると言われています。気候変動は私たち人間が生み出している温室効果ガスが原因です。「2030年第6次エネルギー基本計画」の改定は、気候変動が進んでいる今、大変大切な計画になります。基本計画における再生可能エネルギーの導入拡大は、温室効果ガスを減らす最も有効な手段です。

2021年3月には、東日本全体が壊滅する可能性すらあった東京電力福島第一原子力発電所事故から10年の節目を迎えましたが、暮らしを奪われたままの方がたくさんおり、廃炉の見通しも未だ立っていません。日本は約70％の食料とほぼ100％のエネルギー資源を海外に依存しています。日本が自給できるエネルギーは、再生可能エネルギーしかありません。また、温室効果ガスを大量に排出する石炭火力発電の温存政策は、持続可能な脱炭素社会に逆行するものです。2050年カーボンニュートラルの実現の鍵は、エネルギーの効率化と共に再生可能エネルギーの大幅な拡大をいち早く進めることです。

よって、「2030年エネルギー基本計画」の改定にあたり、下記の事項を求めます。

1　国は、次期エネルギー基本計画で、2030年度の再生可能エネルギー電力目標を45％以上、2050年度は100％とすること。

2　国は、巨大なリスクを抱える原子力発電は廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止すること。

3　国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換を早急に進めること。

〔提出先〕 内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣、行政改革担当大臣

※議長は表決に参加しないため、表決結果は空欄になっています。※表の見方 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

提出案件の結果一覧（4月臨時会）

	議案名	議決結果	啓和会						みらい				公明党			緑風会			市民の力		日本共産党	
			岡村 有正	松島 修一	渡邉 良太	滝瀬 光一	加藤 勝明	黒澤 健一	日高 英城	高橋 伸治	諏訪善一良	大嶋 達巳	保角 美代	島野 和夫	岸 昭二	村田 裕子	金森すみ子	今関 公美	桜井 卓	工藤日出夫	湯沢 美恵	中村 洋子
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（北本市税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（北本市都市計画税条例の一部改正について）	承認	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
市長提出議案	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
市長提出議案	令和３年度北本市一般会計補正予算（第３号）	原案可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○

提出案件の結果一覧（5月臨時会）

	議案名	議決結果	啓和会						みらい				公明党			緑風会			市民の力		日本共産党	
			岡村 有正	松島 修一	渡邉 良太	滝瀬 光一	加藤 勝明	黒澤 健一	日高 英城	高橋 伸治	諏訪善一良	大嶋 達巳	保角 美代	島野 和夫	岸 昭二	村田 裕子	金森すみ子	今関 公美	桜井 卓	工藤日出夫	湯沢 美恵	中村 洋子
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて（令和３年度北本市一般会計補正予算（第４号））	承認	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○
市長提出議案	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
議員提出議案	北本市議会正副議長選挙に際し所信を述べる決議	原案可決	×	×	×	議長	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

提出案件の結果一覧（6月定例会）

	議案名	議決結果	啓和会						みらい				公明党			緑風会			市民の力		日本共産党	
			岡村 有正	松島 修一	渡邉 良太	滝瀬 光一	加藤 勝明	黒澤 健一	日高 英城	高橋 伸治	諏訪善一良	大嶋 達巳	保角 美代	島野 和夫	岸 昭二	村田 裕子	金森すみ子	今関 公美	桜井 卓	工藤日出夫	湯沢 美恵	中村 洋子
市長提出議案	北本市税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	北本市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	市道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	令和３年度北本市一般会計補正予算（第５号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
市長提出議案	令和３年度北本市一般会計補正予算（第６号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
請願	「「2030年エネルギー基本計画」の改定は脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書」の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○
委員会提出議案	「2030年エネルギー基本計画」の改定にあたり、脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高めることを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○